標高350㍍の地で 真っすぐにネギを育てる

藤原 義孝（よしたか） さん
（大迫町内川目 69歳）

内川目小学校から東へ車で10分。晩秋で赤黄に色付いた山間を進み、標高350㍍の栃洞地区の藤原義孝さんのお宅へ向かうと、収穫されたばかりのネギをずらりと並べ、笑顔で出迎えてくれました。

藤原さんは元々、自身の生まれたこの場所で、30年以上ナスを栽培していました。しかし、ナスの畑に連作障害が発生。ネギの栽培は、この連作障害の対策として令和4年から始めたものでした。「この畑は父の代まで300年以上、大事に葉たばこ栽培をしていた土地。平地より気温が2度低い冷涼な気候が、ネギの生育に適しています」と、藤原さんは立派に育ったネギを眺めます。

「農業は苦労の連続」と振り返る藤原さん。最大のショックは、コメが一粒もできなかった平成5年の大冷害でした。それでも「子どもたちに食わせなきゃいけないし」と、前を向いてきました。以来やした口ひげを見ては、大冷害の悔しさを忘れず、気を引き締めると言います。

「ネギは真っすぐ育てるための土寄せと、病気がないか見る観察眼が大事。来年はA品率をより高めたい」と話す藤原さん。気持ちも真っすぐに、作業を続けていました。

白い部分がしっかり伸びた、いわて純情ネギ「やわら香」

市内企業紹介

花まき❖いいモノ・いいコト

友月庵（ゆうげつあん）

◎店舗情報
大迫町亀ケ森14-57
☎090-2873-6939

①

②

③

④

①_宿への思いを語る大和田さん②_伝統的な工法で改修した古民家③_くつろげる空間が広がる「神楽の間」。開業記念として大償神楽が舞われました④_亀ケ森らしいぶどう柄の障子戸が特徴の「北部屋」

＊市ホームページでは、より詳しい情報を掲載しています

本年5月、大迫町亀ケ森に1日1組限定の宿「友月庵」が誕生しました。宿を営むのは、茨城県水戸市出身で、合同会社亀ヶ森醸造所の代表としてワインとシードルの醸造にも携わる大和田博さん。「より多くの人に亀ケ森の魅力を知ってもらい、集い、地元の美味しいものを味わい、笑顔になれる場所を作りたい」との思いから、築125年の古民家をリノベーションし、開業に至りました。

自然に囲まれた宿の中は、北部屋(10畳)、中部屋(7.5畳)、南部屋(5畳)に加え、くつろぎの場として囲炉裏（いろり）の間と神楽の間があります。食事の提供はありませんが、自由に使える台所があるので、地元食材を使った自炊を楽しめます。

友月庵の名前の由来は、「友月交風（ゆうげつこうふう）(月を友とし、風と交わる)」という言葉から。大和田さんは「ここを拠点にぶらぶら歩いて、『何もない』を楽しみ、静かに流れる時間を過ごしてもらいたい」と語ります。

市ホームページ

市民生活コーナー

海産物の電話勧誘に注意！

■どんなトラブルがあるの？

○海産物業者を名乗る者から「新型コロナウイルス感染症の影響で商品が売れず、収入が減って困っている。支援してほしい」と電話があった。断り切れず購入したが、購入金額に見合わない品質の悪い商品が届いた

○「以前購入されたことがある人を対象に電話をしている。海産物を購入しないか」と電話があった。身に覚えがないため断ったが、「ありがとうございます」と電話を切られ、後日代引き配達で商品が届いた

■注意することは？

○相手は情に訴えてきます。話の内容に覚えがない、勧誘が強引であるなど、少しでも不審に思った場合は、話し込まずにきっぱりと断りましょう

○業者から電話で勧誘されて契約してしまった場合、クーリングオフができます。また、断ったにもかかわらず一方的に商品が送られてきた場合は、送り主の名前や連絡先、所在地などの情報を控えてから受け取りを拒否し、代金を支払わないようにしましょう。もし受け取ってしまった場合でも、返金を求めることができます

■問い合わせ

○新館市民生活総合相談センター（☎41-3550）へ

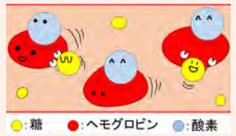
健康コラム

COLUMN:Health

血糖値を知ろう「HbA1c」

前回は血糖値に関する基本をお話ししました。今回は、検査項目「HbA1c(ヘモグロビンエーワンシー)」について詳しくお話しします。

●ヘモグロビンは糖に好かれる



ヘモグロビンは赤血球に含まれる赤色のたんぱく質で、全身に酸素を運ぶ役割があります。血が赤く見えるのはヘモグロビンが赤いからです。このヘモグロビンは糖に好かれやすく、一度糖がくっつくとヘモグロビンの寿命が尽きるまで離れません。この性質を利用して、血液中の糖がくっついたヘモグロビンの割合を調べているのが「HbA1c」です。血液中のヘモグロビンは約30日で5割、約2カ月で7割が入れ替わるため、過去1～2カ月の血糖値の状態を知ることができます。

●検査項目「血糖値」との違い

血液検査項目の「血糖値」は、検査前の食事内容や時間に左右されます。一方、「HbA1c」は直前の食事などの影響を受けないので、平均的な血糖値の状態を知ることができます。健康診断の結果を見るときは、HbA1cの値にも注目してみてください。

【問い合わせ】健康づくり課(☎41-3613)

いいトコ発見！ 地域おこし協力隊

地域が大事にしているものを大切に
-ブドウ栽培技術の継承と地域活性化担当
渡邊 昌敬（まさよし）-

▲伸びたブドウの枝をブドウ棚に固定中

▶大迫あんどん祭りでは上若組で参加しました

宮城県多賀城市から大迫町に移住し8カ月が過ぎました。当初は新居をのぞくカモシカに驚かされましたが、今ではすっかりなじんでいます。

ブドウ栽培は、葡萄（ぶどう）が丘農業研究所に所属し春の作業から秋の収穫までを一通り経験しました。味や見た目も含めた商品としてのブドウづくりの難しさを実感しています。

地域活性化の取り組みでは、大迫町のPR活動や地域の皆さんとの交流を深めるため、市内イベントの手伝いやジュース販売の出店などに参加しています。特に、大迫あんどん祭りではあんどん山車の制作から運行までを体験し、地域のアイデンティティーに触れる貴重な経験をさせていただきました。

地域の皆さんは、気さくで人情味にあふれていて、生活面でも温かく見守ってくださっています。今後も、大迫町の神楽やブドウ、ワインはもちろん、花巻市の皆さんが大切にしているものを理解しながら、活動に取り組んでいきます。